

## 平成20年度第2回出島処分場事業連絡調整協議会の概要

### 1 日時, 会場

- 平成20年10月29日(水) 18:30~19:45
- 宇品老人いこいの家 3階大集会室(南区宇品御幸四丁目)

### 2 出席者

- 会長他13名出席

### 3 議事要旨

#### (1) 協議会の進行

- 平成20年度第1回協議会の議事概要の確認
- 出島地区港湾整備事業環境監視結果(工事着手後)及び周辺環境の事前調査結果(平成20年5~7月調査)の報告
  - ・工事中の環境監視結果では、いずれの項目も監視基準に適合している。
  - ・周辺環境事前調査結果では、過去の調査結果と同程度であり特に異常はない。
- 遮水シート等材料試験結果の報告
  - ・施工中の遮水シート及び保護マットの材料試験の結果、強度等の基本特性値は、すべての項目で基準値を満足している。
- その他の説明
  - ・開口部ケーソンの下函4函の製作については、6月に発注予定であったが、契約が不成立となったため、10月に発注方法を改めて、上下函合せて8函を製作することとし、現在公募中。
  - ・水中では台船上と同じ溶着作業はできないため、水中で2枚の遮水シートを重ね合わせ、重ね合わせたその上に型枠を作り、その中にアスファルトマスチックを3.5mの幅で厚さ50cm以上流し込み、その重さで遮水シートを上から抑え込み圧着することで遮水する。
- 次回協議会の開催の調整
  - ・次回の協議会は1月開催予定で、後日日程調整を行う。

#### (2) 発言要旨

- 平成20年度第1回協議会の議事概要の確認
  - ・発言要旨のところで、揚陸施設について「陰圧となるように計画しているのか」という言葉があるが、陰圧という言葉を使った覚えがない、以前の話し合いの時に負圧という言葉が出ていたのでその言葉を使って質問したはずで、言葉が変わっているように思う。
    - 陰圧という箇所を負圧と修正する。
  - ・協議会の議事録を1ヶ月後ぐらいまでには届けていただきたい。
    - 1ヶ月後ぐらいには議事録をお届けできるよう努めたい。
- その他の説明
  - ・工事日よりでは、9月中旬以降に遮水工のアスファルトマスチック打設工を行う予定となっているが、予定どおり工事を行ったのか。環境監視結果の資料ではアスフ

アルトマスチック打設工を行う起重機船やフェリーバージ船は作業船の隻数として挙げられていないが、工事はしていないのではないか。工事だよりの工事スケジュールで9月下旬から10月初めにかけて遮水シートの敷設工を行う予定となっているが、遮水シートの溶着台船のところにも記入がない。

→ 資料の不整合があるようなので、後日、調査して確認する。

・時間外工事は行っているのか。

→ 作業によっては、時間外を行っている場合もあるが、今は日没が早くなってきており、日没になると作業ができないので、日没後の工事は行っていない

・工事は順調に進んでいるのか。

→ はい。

・遮水シートはアスファルトマスチックの熱による影響を受けることはないのか。

→ 影響を受けることない。

・アスファルトマスチックの型枠は最終的には取り除くのか。

→ 型枠は取り除かずにこの型枠の上にセメント系の固化処理土を打設する。

・遮水シートの厚さが1.5mmと3.0mmがあるが、県が市に許可申請した数値基準が二種類あるということか。今回試験した遮水シートが1.5mmと3.0mmの二種類あるということか。

→ 広島市からは、厚さ1.5mm以上の場合の要求性能の数値により許可を受けているが、現地の施工は3.0mmの遮水シートでやっている。

・水中では遮水シートを溶着するという方法であったように思うが、前回聞いた時に溶着ではなくアスファルトマスチックで接合することであった。途中で工法が最初の想定と変わっているが、それは許可などの問題はないのか。

→ 溶着ということで説明してきたのは、工場で作成した幅2mの遮水シートを台船上で30m幅にする場合などの海上での加工のことであり、ほとんどはこの溶着となりますが、部分的に溶着できない箇所については、接合という言葉方をしている。

・海中では基本的にアスファルトマスチックで接合するというものでいいのか。

→ はい。

・アスファルトマスチックの運搬車は160℃という高温のものを運ぶということであるが、運搬の時に前後に先導車が付くのか、もし事故があったらどうするのか。

→ 温度について言えば、通常の舗装用のアスファルトはダンプやトラックで運ばれているが、その温度が大体140℃くらいである。また、運搬時に先導車は付いていないが、これまで事故はない。運搬には十分に気を付けるようにする。

・住民と県で協定書を締結しているが、我々としてはこの計画が供用開始から10年間という県との約束があり、それを守ってもらわないと困るということでそのような文言を入れている。これだけごみの減量化が進んでごみ自体が当初計画した時よりも減っており、細々と入れ続けたら20年、30年、ごみ溜めのままである。10年で緑地等にしてもらえればいいと思っているが、このことについて、現在の県の考え方を伺いたい。

→ このことについては、知事が協定は尊重してまいりますとはっきり申し上げており、私どもとしてはその姿勢は今でも変わっていないと考えている。

- ・9月の県議会で佐伯区選出の県議がコストが高いのになぜ海上輸送するのか、長年、廃棄物処分場があることに耐えてきたのに、またこれから集積場所として利用されるのは納得いかないなどの意見が出たと聞いたが、それに対して県はどのように答えたのか。
  - 出島では膨大な埋立量があり、陸上から搬入するとしたら道路の騒音が環境基準を超過するというので基本的には陸上搬入を避けたいとの判断から海上搬入することとした。平成11年時点で既に五日市に積出施設を計画しており、宇品地区住民の方々にはその時点で説明しているのに、なぜ五日市にはなかったのかということについては、環境県民局長が、当時、五日市の方で説明すべきであったと認識している旨の答弁をしている。
- ・絶対に海上輸送で変わることはないのか。
  - 平成21、22年度と公共関与処分場がない空白期間が生じるが、2年間以上の空白はつくれないという状況の中で、今、例えば陸上搬入するとか、まだ他に積出施設の適地があるかについては検討の余地がなく、五日市の方には我々が誠心誠意お話をし、事業の安全性について御理解をいただく努力を続けて行くことが必要だと思っており、こちらの方に陸上搬入をお願いすることは考えていない。

#### 4 会議資料の資料名一覧

- ・会議次第
- ・平成20年度第1回出島処分場事業連絡調整協議会の概要
- ・出島地区港湾整備事業環境監視結果の概要
- ・周辺環境の事前調査結果について
- ・平成20年度遮水シート等材料試験立会結果
- ・出島地区廃棄物処分場工事だより

※ 担当事務局

広島県環境県民局環境部産業廃棄物対策課  
TEL : 082-513-2964 (ダイヤルイン)